

TSK STER i J E C T ニードル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

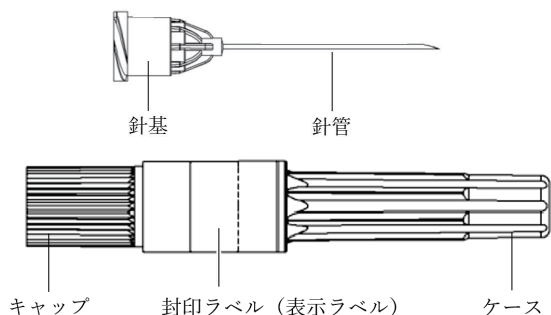
- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止

【形状、構造及び原理等】

1. 構成

主として針管と針基からなり、製品の保護及び誤刺の防止に、ケースとキャップの中に収納する。

2. 構造図(代表図)



3. 原材料

- 針管: ステンレス鋼
- 針基: ポリプロピレン (PP) 又はポリカーボネート (PC)
- 潤滑剤: シリコーン油

【使用目的又は効果】

本品は注射筒を用いて、医薬品の投与に用いる一回限り使用の注射針であり、眼科用針として、眼内への薬液の注入に用いる。

【使用方法等】

- ケースとキャップを互いに反対方向にねじり、封印ラベル(表示ラベル)を破ってキャップを外す。
- ケースを付けたまま本品の針基に注射筒を確実に取り付ける。
- 穿刺部位を消毒する。
- 針先を傷つけないようにケースを真つすぐ引いて取り外す。(針基にルアースリップ式シリンジを接続する場合、針基にシリンジを接続後、針基とケースを把持して、ケースを真つすぐ引き抜く)
- 針先からの薬液を注出ができることを確認後注射又は投与する。
- 針を抜去後、必要な場合は止血を行う。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・本品は、ルアー接合部は国際規格のルアーフィッティングで規定されている規格に準拠されている場合でも締め方や接続後の取扱い等により接続が緩む場合が想定される。確実にしっかりと接続し、漏れ等の異常が無いか必ず確認すること。
- ・ケースを真つすぐ引いて取り外すこと。[外すとき針先に触れると針先が変形し、切れ味が悪くなる可能性がある。]
- ・注射筒を確実に針基に挿入し、漏れ等の異常がないことを確認すること。
- ・ケースが針基に付けたままの状態、注射筒で針基に過剰な回転負荷をかけないこと。[針基がケースから外れなくなる又は針基が破損し、薬液等が漏れる可能性がある。]
- ・本品の針基にルアースリップ式シリンジを接続する場合、針基にシリンジを接続後、針基とケースを把持して、ケースを真つすぐ引き抜くこと。[ケースから針基が外れない可能性がある。]

- ・薬液の注射又は注入後、本品を穿刺部から抜去する際には、本品の針基とシリンジ等の接続機器を把持して真つすぐ引き抜くこと。[シリンジ等の接続機器から針基が離脱する可能性がある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ・ポリカーボネート(PC)の針基は、脂肪乳剤等をはじめ油性成分、界面活性剤又はエタノール等の溶解補助剤を含む薬液を投与する場合及びエタノールを含む消毒剤を使用する場合、また、注射筒と過度な締め付けにより、針基のひび割れが発生する可能性がある。
 - ・本品の滅菌済みのため、封印ラベルを開封したら直ちに使用すること。
 - ・針管は曲げて使用したり、強い力をかけたりしないこと。[針管が折れる危険性がある。]
 - ・リキャップする必要がある場合は、針刺しを防止するため、保護具等を使用するか、ケースを手で持たずに台等に置いて、ケースを真つすぐに被せること。[傾けると針がケースを突き抜ける可能性がある。]
 - ・使用中あるいは使用後に手指等への誤刺のあった場合には、施設のプロトコルに従い、直ちに適切な処置を取ること。
- ##### 〈その他の注意〉
- ・本品の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状が表れた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

〈使用期限〉

包装の使用期限を参照[自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

TSKラボラトリーインターナショナルジャパン株式会社
栃木県栃木市平柳町2丁目1番5号
TEL: 0282-25-5200

製造業者: 栃木精工株式会社